

第64回 母と女性教職員の会 熊本県集会

～子どもたちに平和で安全な未来を～



講演「みんながつくる みんなの学校
いつもいっしょがあたりまえ」
木村 泰子さん
大阪市立大空小学校 初代校長

イラスト 山城加奈さん

日時: **2018年2月11日(日)**

- 9:00～ 受付
- 9:30～11:30 「みんなの学校」上映会
- 11:30～12:15 昼食
- 12:15～12:30 開会行事
- 12:30～14:00 講演
- 14:15～16:15 分科会・教育相談

場所:

熊本県教育会館

(九品寺1丁目11-4)

※できるだけ乗り合わせ・公共交通
機関をご利用ください。

参加資料代: **500円**

子どもや教え子を再び戦場に送らないために

主催/熊本県教職員組合 女性部

「母と女性教職員の会」実行委員会

連絡先/096-372-1500 (県教職員組合)

分科会案内 ～本音でトークしよう～

第1分科会 「共生の教育」 平田美由紀さん（八代支部）
〈外国ルーツの方に学ぶ〉

外国ルーツの子どもたちの現状と課題をご存じですか？残留邦人三世として、また母として、日々奮闘されてきたこれまでの取組を報告します。

文化の違いはあっても、地域や学校の中で共に生きるとはどういうことかを考えましょう。

第2分科会 「共生のインクルーシブ教育」 安成美保さん（天草支部）
〈「あたたかいまなざしとゆとり」を〉

中2の雅弘さんは「ひと」が大好き、自然や音楽が大好きないつもにこにこ好青年です。そんな雅弘さんが、だんだん教室に戻ってこなくなります。

担任はそこで初めて雅弘さんの思いに寄り添っていないことに気づかされます。学校や地域で「共に生きる」とはということか。一緒に考えましょう。

第3分科会 「平和・反原発」 西田由未子さん（上益城支部）
〈地域の中でできることをできるしこ ～平和の担い手を育てるために～〉

人権・平和・環境を守るために、地域の中で「できることをできるしこ」と活動を続けています。「闘う視点を持って動いていたら、人とのつながりが広がってきた」と語る西田さんの話を聞いて元気をもらいましょう。

特別講座 「平和」 大柿勝彦さん（人吉球磨支部）
〈もっと平和を身近なものに～絵本を通して伝えたい～〉

「保育園児に平和教育？」「できます！むしろ小さいときから種をまいておく」そんな読み聞かせによる実践を紹介した後、私が担任していた小学6年生で同じ絵本を使った実践を紹介します。子どもたちのとらえ方が大きく変わってきます。これが絵本の力なのです。

特別講座 「水俣病問題」 坂本しのぶさん（阿蘇支部）
〈水俣病は終わっていない～伝えたいこの思い～〉

胎児性水俣病患者として、二度とこの苦しみが起きないようにという思いを発信し続ける坂本しのぶさん。ジュネーブで行われた「水銀に関する水俣条約第1回締約国会議」での話題にも触れながら、しのぶさんが自分史を語ります。水俣病問題を自分の問題として考えていきましょう

親と子と教職員の教育相談

ベテランの相談員が待機します。悩みを抱え込まないで、ぜひおいでください。受付順に相談を行いますので、事前にお申し込みください。

当日も受け付けます。秘密は守ります。

「母と女性教職員の会」とは・・・

1954年に日本教職員組合婦人部（現在、女性部）が中心となって第1回目を開きました。熊本でも同年12月に集会を開いて以来、「子どもたちを再び戦場に送るな！」を合言葉に回を重ね、今年で64回目を迎えます。

母と女性教職員の会 熊本県集会（県母女）でも、単に会を開くことが目的ではなく、具体的に次の4つの柱を掲げて運動を進めてきました。

- 1、憲法を守りましょう。
- 2、子どもの人権を保障しましょう。
- 3、男女平等を実現しましょう。
- 4、「母と女性教職員の会」の輪を広げましょう。

もちろん、家庭生活、学校生活、社会生活どれも男女で協力しあっていくものです。

母女とは言っても最近は男性の参加も増えてきました。どなたでも参加できる会です。

自分たちの国が再び戦争のできる国に変えられようとしている今、子どもたちに平和な未来を約束するため、共に手をつなぎ、行動していきましょう。

※弁当の必要な方は、事前に支部まで申し込んでください。（500円）

※環境保護のため、飲み物は各自で持参してください。

☆託児室があります。2月 2日（金）までにお申し込みください。

託児料 500円（おやつ・保険・託児料代）

☆託児は、下の用紙を切り取り、FAXまたは郵送で申し込んでください。当日受付はありません。

第64回 母と女性教職員の会 熊本県集会

託児申し込み書 申し込み日 年 月 日

ふりがな 子どもの氏名	年齢（ 歳 カ月）
保護者の氏名	
住所	
参加分科会	
その他必要な連絡事項（アレルギーなど）	

- ・ 託児会場 熊本県教育会館 ・ 託児時間 9:30～11:30 12:15～16:15
- ・ 1歳以上2年生までのお子さんをお預かりします。
- ・ 託児料は、一人500円ですが、一家族上限は1000円とします。

○ 特別な事情がおありの方は、事前に下記までお尋ねください。

※申込み先 〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目11-4

熊本県教職員組合 女性部宛 Tel 096 (372) 1500 fax 096 (372) 1527

日	程
9 : 0 0 ~	受 付
9 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0	「みんなの学校」上映会
1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 1 5	昼 食
1 2 : 1 5 ~ 1 2 : 3 0	開会行事
1 2 : 3 0 ~ 1 4 : 0 0	講 演
1 4 : 1 5 ~ 1 6 : 1 5	分科会・教育相談

講 師 紹 介

木村 泰子 さん

(大阪市立大空小学校 元校長)

大阪市立大空小学校初代校長。大阪市出身。
 武庫川学院女子教育学部短期大学保健体育学科
 (現武庫川女子大学短期大学部健康・スポーツ学科) 卒業。



「みんながつくる みんなの学校」を合い言葉に、すべての子どもを多方面から見つめ、全教職員のチーム力で「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注ぐ。

学校を外に開き、教職員と子どもとともに地域の人々の協力を経て学校運営にあたるほか、特別な支援を必要とされる子どもも同じ教室でともに学び、育ち合う教育を具現化した。

2015年春、45年間の教職歴をもって退職。現在は全国各地で講演活動、取材対応などで多忙な日々。

2015年9月16日、学び合いと育ち合いを見届けた3290日の軌跡がつづられた本『「みんなの学校」が教えてくれたこと』を刊行 小学館

2016年7月25日『「みんなの学校」流自ら学ぶこの育て方』を刊行 小学館

2016年8月10日 『21世紀を生きる力』を刊行 水王舎